

生活協同組合あいコープみやぎ 機関紙

あいあいあい

2011年9月9日号

coop あいコープみやぎ

〈発行〉生活協同組合あいコープみやぎ理事会
〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町3丁目4番7号
TEL 022-284-7241 FAX 022-284-6973
http://www.mamma.coop



生産者支援金贈呈 報告 part 2

石巻 高橋徳治商店 高橋英雄社長から お礼状が届きました

遅らばせながらあいコープみやぎ組合員の皆様へ義捐金の御礼を申し上げます。

2011年3月11日の震災で被災し本社工場初め三工場が壊滅し、数週間当時はただ呆然と食べるだけの被災所での日々でございました。

そして放射能事故は悔しく大きく未来に禍根を残しています。

全ての従業員の安否が分かり、ヘドロから取り出したタイムカードを洗い手計算で給与の仮支給、全従業員の解雇通知、瓦礫やヘドロの撤去、中小型機械の撤去は全て手出しでスコップと人力で頑張りました。

洗いは川の水を汲み工場に流し床が少し見えては感激し、満潮で冠水して工場内にヘドロが逆流しては落胆し、往復6時間かけて通う方もおり、土日もなく皆さんの力が私どもを後ろから支え押していただいたこと、忘れられません。

変わり果てた景色、出会いや気づいたこと、沢山の記憶が瞬時によみがえり今も涙が出てきます。

その時その光景、熱のようなものに取りつかれたようにヘドロだらけになって働く皆さんのその姿。夕暮れの帰り道、道路に満ちてくる海水に飛沫を上げて走る皆さんの車をひとり見送ってはただただ頭が下がりました。

私の思い以上に皆さん一人ひとりの大きな思いに時に戸惑い、時に勇気、時に辛く時に喜びとなりました。

従業員は少ない人数ですが7月から会社に戻ってもらい、たった1ラインの揚げかまぼこライン生産です。その為に工場全体をこすり磨き延べ500名余り、半年以上、お取引先職員や理事さん、組合員

さんのお手伝いの主役でございました。

当社のスタッフ全員が、それぞれ大きな心の痛手を抱え、夢ではないことが分かった時、何らかの不安やショックを心の中にしまい忘れることもできないまま今に至っています。石巻はいまだ倒壊した家の解体がすすんでおりません。

復旧にもならない程度の仮ラインではありますが、お世話になった皆様へようやくひとつの揚げかまぼこをお送りする事が出来ます。北海道のすり身と岩手県の豆腐で作りました「おとうふ揚げ」、当地の魚が使用できないのが残念ですが、現在、私どもスタッフが精一杯の感謝に代えて震災後初めての1番生産ロットより送付させて頂きます。

来年2012年秋には隣の町で新工場の建設を計画しております。最後になりますが、重ねて義捐金の御礼を申し上げます。被災地の生協の組合員さまからの義捐金本当に恐縮です。有難く頂戴し会社再興に向け頑張りたいとお誓い申し上げます。

ありがとうございました。

津波で流された家のあとには強く雑草が生え、解体した家屋の跡にはボランティアさんが春に植えた黄色い色は希望だそうですが、ヒマワリがホコリが舞う中すくと立っています。

少し腰が曲がりましたが、胸を張って瓦礫の上に立って皆様と共に笑顔で再会できますことを祈りながら・・・

私たちは決して独りではなかった 遠く近く思いを信じて

平成23年9月6日

㈱高橋徳治商店 代表取締役 高橋英雄

新米をお届けする前に放射能の検査を実施します

あいコープみやぎでは、新米の供給前に、多段階で残留放射能の検査を行います。【①水田の土壌検査 ②稲体の検査 ③収穫後の玄米検査】(①②は実施済) 提携産地のセシウム値が最も高い水田の稲体を検査機関で検査し、いずれも「検出せず」でした。新米の供給にあたっては・・・

1. 出荷前検査で、検出値がND(検出限界 10Bq/kg)のものをお届けします。
2. 玄米で万一検出された場合、同ロットの白米の検査でNDであれば白米での出荷を行います。

検査結果すべてはHPで公開してまいります。

放射能測定に関して、HPで詳しく説明しています。

「あいコープ」で検索してね!

～放射能測定【よくある質問 Q&A】コーナー出来ました!～

花兄園さんからお礼状が届きました

この度は、組合員の皆様からのお見舞金ありがとうございます。
原発事故でこの農場が閉鎖になり、津波でこの農場が消失し、17万羽の鶏が犠牲になる被害を被りました。1ヵ月以上供給が止まり、組合員の皆さんにご迷惑をおかけしたにもかかわらず、震災前と変わらない供給ができてようになりました。心より感謝いたします。
原発事故は補償金が出る事になりました。前向きに再建に取り組み、皆様のご厚意に応えたいと思っております。紙面をお借りして皆さんにお礼申し上げます。(株)花兄園 大須賀 木

趙さんの味、李さんへ支援金届けました

「工場を新設し本格稼働しようとしていた矢先の出撃をじかに地震と津波でいかに、今はゆっくり一歩ずつ進んでいます。」と李さんは語ってくれました。
新工場の土地を宮城野区中野神明に取得し、来年1月の供給再開を目指して頑張っています。震災後のあいコープの対応にとっても感謝していただきました。
お渡した支援金は新工場に使っていくことになる予定です。Wa!わお祭りでは迫野の野菜を使ったキムチを出店していただけることになりました。キムチの趙さんの味、李さんの笑顔に逢えるのはもうすぐです。

しおさい地区担当理事 黒田 由紀子

あいコープカレンダー
9月9日(金)祝日

10:30(日) Wa!わお祭り

会場: 金沢 サマフェスタ

時間: 10:00 ~ 15:00

生産者つうしん!! 共生会交流会 開催しました

8月28日、29日の2日間 共生会交流会が行われ、のべ80名近くの参加がありました。

初日は、七郷みつば会のライスセンターと圃場、(有)越えんの味の引き渡し直前だった新工場、そして石巻漁港と(株)高橋徳治商店の本社、第2工場と冷凍施設を訪問しました。津波被害のあった地域を初めて訪れる人もおり、復旧・復興にはまだまだ問題が山積みであることを実感したようです。

二日目には、日の出町センターで、それぞれの震災直後からの様子や、放射能に対する取り組み、脱原発活動等の報告を行いました。

中でも、ご自宅が福島原発から20km近くにおり、工場は35km離れたいる、タンポポ村の牛乳社長のお話は、放射能への不安はもちろん、地域が失われる事への恐怖など、実に苦しいものでした。それでも、工場に巨大な水槽を利用して検査体制を整えるなど、安心な製品作りのために懸命に努力されている事もわかりました。

問題は大きくとも、これまで培ってきた顔の見える信頼関係を大切にする事が復興につながっていくのだと思います。

理事 高野 恵美子



ぶんぶんカフェ in 石巻報告

●あいコープみやぎでは、原発や放射能汚染への不安を共有できる場「ぶんぶんカフェ」を開催しています。原発の問題点を学んだり、実際に線量計を使って会場周辺の空間線量を計りながら日々の暮らしについて情報交換をしています。 <子ども達の未来のために脱原発を促す委員会>

3.11. あの日、避難先の中学校には食べるものがなく、幸い子ども達は 伯母の家にあったご飯を握ってもらい食べることができました。離れている家族の心配、空腹で眠れぬ夜を過ごしました。食は命です。私達は 食べることで生き続けることができます。子育て中の親としては、子どもに食べさせるのは 安心・安全なものを...と多くの親が望んでいることでしょう。その思いを行動にしてくれているあいコープの姿勢には 共感が持てます。そして、協力してくれる生産者の皆さん、ありがとうございます。学習会で学び、署名運動では 脱原発! という意思表示を多くの方がしてくれました。子ども達の未来のために私達ができることを、少しづつ元見張ります。

石巻地区委員 奥山 満寿美

Wa!わ祭り

Wa!わ祭りまで あと約1か月!! 「出店者説明会」を開催!

テーマ
『あいコープ出会で繋がり大きな輪!!』
～みんなの力で、一歩ずつ～
(10月30日(土) 10:00～15:00)
仙台 卸商センター 2Fエスタ1F

8月29日(月)に、Wa!わ祭りの生産者説明会をサンフェスタで行いました。たくさんの生産者さんが集まり、会場を見たり、レイアウトについて話し合ったりしました。震災後、お祭り開催もどうなるか見当もつきませんでしたが、ふたを開けてみれば、昨年よりも多い58団体の参加となりました。今年だからこそできる、あいコープ独自の目線で色々な企画が進んでいます。ぜひ、たくさんの方々の参加で、生産者さんと交流したいと思っています。<わい内容は別チラシを ざらん下さい(お祭り担当理事・高崎 かおり)>

エコ2011
フェスタ
ごみ0(ゼロ)タウンで快適ライフ
9/4 SUN 勾当台公園市民広場

コネコネ石けん、とろとろ石けんを 作りながら考えた、これからの「水環境」のこト。

ごみ減量やりサリクルを推進するイベント「エコフェスタ2011」が4日、仙台中青葉区の勾当台公園市民広場で開かれ、石けん環境委員会が「シンプル生活は石けんから」をキャッチフレーズに石けん製品の販売と石けん作りの体験コーナーで参加しました。子供たちに大人気だったのは「こねこね石けん」作りです。粘土のような石けん素地を指でこねて型をぬいたり、好きな形の石けんを夢中になって作りまいた。そんな子供たちの横でお母さん達には「とろとろ石けん」を作ってもらい、委員が石けんの安全性や使い方のお話をしました。100個用意したこねこね石けんは、お昼過ぎにはなくなり、関心の高さが見られました。白風が心配されましたが、たくさんの方が来場して 楽しく石けんを伝える場になったと思います。

(石けん環境委員会 菅原 淑子)



石けん学習会 in 石巻

9/7(水)に、石巻の渡波小学校で石けん学習会を開きました。渡波小学校はまだ避難所になっていて、90名位の方がそこで暮らしています。そこで『ワタママプロジェクト』という地域復興のために頑張っているママたちがいます。避難所の炊き出しやTシャツ、缶バッチの販売などのグッズ売りをしています。その売り上げから得た収益がワタママさんの給与や食材購入の財源になります。この日はワタママさんと一般の方12名の参加で、石けんの話をしました。「地域復興を石けんから」「未来の海を守る」という気持ちになってきました。と言って下回の方もいて、とてもうれしかったです。石けん環境委員会は、これからもワタママさんたちを応援していきたいと思っています。

理事・高崎 かおり

